

会期 2012年7月28日(土)～8月26日(日)
会場 展示室1・2

Wisteria by Maruyama Ōkyo and Edo Period Screens

応挙の 藤花図と 近世の屏風

コレクション展

根津美術館の近世絵画コレクションは、屏風絵の宝庫です。そのひとつ、写生画派の祖・円山応挙(1733～95)の筆になる重要文化財「藤花図屏風」は、輪郭線を用いず、一筆で対象のもつ陰影や立体感をあらわす「付立て」による幹や枝、白に青や紫の顔料を重ね合わせ、複雑な色合いやボリュームを表現する花房など、応挙の斬新かつ装飾性に富んだ写生画風の真骨頂を示す作品です。

本展では、この「藤花図屏風」を中心に、修理を経て、このたび初公開となる俵屋宗達工房の優品「草花図屏風」をふくめ、魅力あふれる近世の屏風絵の数々をご覧ください。

出品目録

- ・指定の◎は重要文化財、○は重要美術品です。
- ・目録の順番は陳列の順番と一致しません。
- ・都合により出品作品が変更になる場合があります。
- ・出品作品はすべて根津美術館の所蔵品です。

No.	指定 作品名	作者・賛者・銘・窯名・出土地等	員数	材質・技法	制作時期	列品番号	備考
1	草花図屏風	「伊年」印	6曲1隻	紙本着色	日本・江戸時代 17世紀	10337	初公開
2	夏秋草図屏風	「伊年」印	6曲1双	紙本着色	日本・江戸時代 17世紀	10338	
3	木蓮棕櫚芭蕉図屏風	伝 立林何帛筆	2曲1隻	紙本墨画淡彩	日本・江戸時代 18世紀	10347	
4	秋草図屏風	鶴沢探鯨筆	2曲1隻	紙本金地着色	日本・江戸時代 18世紀	10318	
5	◎ 藤花図屏風	円山応挙筆	6曲1双	紙本金地着色	日本・江戸時代 安永5年(1776)	10323	
6	○ 赤壁図屏風	長沢芦雪筆	6曲1双	紙本墨画淡彩	日本・江戸時代 18世紀	10304	
7	赤壁図屏風	谷文晁筆	6曲1双	紙本着色	日本・江戸時代 19世紀	10321	
8	花鳥図屏風	椿椿山筆	6曲1双	紙本着色	日本・江戸時代 嘉永5年(1852)	10322	
9	両帝図屏風	狩野探幽筆	6曲1双	紙本金地着色	日本・江戸時代 寛文元年(1661)	10312	
10	山水花鳥図屏風	狩野尚信筆	6曲1双	紙本墨画淡彩	日本・江戸時代 17世紀	10313	
11	桜下麝香猫図屏風	狩野宗信筆	6曲1双	紙本金地着色	日本・江戸時代 17世紀	10316	

藤花図のテクニック1 幹・枝・蔓

幹や枝、蔓は、輪郭線を用いず、筆ないしは刷毛の一筆描きで対象を表現する「付立て」と呼ばれる技法であらわされています。濃度の異なる墨を筆にふくませることで描線に濃淡が生じ、それによって幹や枝の陰影、ひいては立体感が表現されます。また、力をこめた筆さばきが生む墨のムラが意外にもゴツゴツした藤の幹の表面を再現し、また奔放に走る描線が伸びやかな蔓を描きだしています。蔓の線には一部緑も加えられています。

下描き無しの一気呵成の筆遣いが魅力ですが、線の重なりはよく整理され、あらかじめ構図を周到にイメージしてから描かれたものと考えられます。幹や枝の前後関係、交差する部分における墨の重なり具合を考慮すると、主だった幹や枝がどのような順番で描かれたのかも推測できそうです。



左隻部分



右隻部分

藤花図のテクニック2 葉

葉も一見、緑による「付立て」風の技法で描かれているように見えます。しかしよく見ると、緑の下あるいは輪郭部に墨が存在する箇所が見受けられます。そこから類推すると、これらの葉は、幹や枝と同様まず墨の付立てで描かれ、そうしたいわば下描きの上から緑の絵具が塗られたのではないかと想像されます。光の加減によって中央の葉脈をはさんでわずかに色の見え方が異なる葉の様子、それを再現する緑の濃淡も、下描きの墨の調子による部分が大きそうです。

写生味を生かしながらも、金箔の地が透けて見えるある種幻想的ともいえる水墨による幹や枝に、墨色を宿したりアルな色合いの緑の葉が加わり、最後に、華麗きわまる花房が描かれることになります。

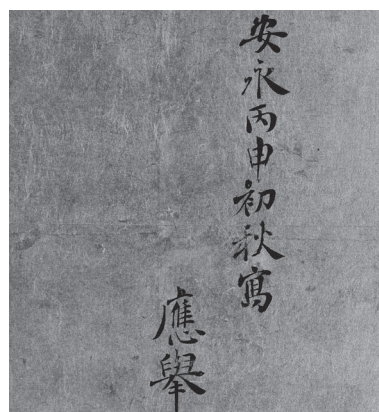
藤花図のテクニック3 花と花房

藤の花は、「旗弁」と呼ばれる花びらの付け根に、雄蕊や雌蕊を包む「舟弁(竜骨弁)」という花びらが2枚あり、それをさらに2枚の「翼弁」が挟む構造をしています。「藤花図屏風」では、おおむね、まず楕円の下に円がつらなるかたちには白い絵具を塗り、楕円は中央部分をのこした左右に青と紫が入り交じった薄い絵具を重ねて旗弁を、下方の円は淡色を重ねてからさらに中央に筋をのこして濃色を点じることで舟弁を包み込む翼弁をあらわします。

こうした色彩表現をさして「印象派」のようだとするのは正確ではないでしょう。しかし、白に併置されることで鮮やかさを増す青や紫、それらがいくつも集積して作り出す質感は油絵を思わせます。キラキラと光り輝く宝石が降ってくるかのような表現は、きわめて斬新です。



右隻部分



右隻部分(署名、年記)

安永年間の円山応挙

「藤花図屏風」には両隻とも「應舉」の署名に「應舉之印」および「仲選」の印、それに「安永丙申初秋(左隻は孟秋)寫」の年記が備わっており、安永5年(1776)7月に制作されたとわかります。ときに応挙44歳。同じ安永年間(1772～81)には、2年に「雲龍図屏風」(個人蔵)、そして「藤花図屏風」と同じ年に「雨竹風竹図屏風」(円光寺蔵)、いずれもこんにち重要文化財に指定される作品が制作されています。

水墨の可能性を徹底的に追求した「雲龍図屏風」、やはり墨のモノクロームによって写生を情趣あふれる絵画表現に結実させた「雨竹風竹図屏風」、そして、水墨と彩色双方の技法を駆使して写生と装飾性を高度な次元で融合させた「藤花図屏風」。この時期、応挙の画業は最初のピークをむかえたのです。

同時開催 テーマ展示

No.	指定	作品名	作者・賛者・銘・窯名・出土地等	員数	材質・技法	制作時期	列品番号	備考
-----	----	-----	-----------------	----	-------	------	------	----

【展示室3 〜ホール】仏教彫刻の魅力 The Fascinations of Buddhist Sculpture

1	弥勒菩薩立像		1軀	石造(片岩)	クシャー ン時代	3世紀	20097	
2	四面仏碑像		1基	石造(石灰岩)	中国・北魏時代	6世紀	20063	
3	如来三尊像		1基	石造(砂岩)	中国・北魏時代	6世紀	20061	
4	如来三尊像		1基	石造	中国・北齊時代	6世紀	20338	
5	如来立像		1軀	石造(白大理石)	中国・北齊時代	6世紀	20069	
6	菩薩立像頭部	天龍山石窟第10窟	1個	石造(砂岩)	中国・北齊時代	6世紀	20066	
7	交脚菩薩像頭部	天龍山石窟第10窟	1個	石造(砂岩)	中国・北齊時代	6世紀	20065	
8	如来坐像頭部	天龍山石窟第16窟	1個	石造(砂岩)	中国・北齊時代	6世紀	20067	
9	◎ 十一面観音立像龕	宝慶寺	1個	石造(石灰岩)	中国・唐時代	7世紀	20341	
10	如来坐像頭部	天龍山石窟第18窟	1個	石造(砂岩)	中国・唐時代	8世紀	20078	
11	◎ 地藏菩薩立像		1軀	木造彩色	平安時代	久安3年(1147)	20011	
12	不動明王立像		1軀	木造彩色	平安時代	12世紀	20013	
13	地藏菩薩立像		1軀	木造彩色	鎌倉時代	13世紀	20019	
14	帝釈天立像	定慶作	1軀	木造彩色	鎌倉時代	建仁元年(1201)	20024	
15	梵鐘 [地階に展示]	金愛立・金礼発作 雲興寺	1個	青銅製	朝鮮・朝鮮時代	康熙29年(1690)	30136	

【展示室4】古代中国の青銅器 Ancient Chinese Bronzes

1	◎ 饗養文方盃	伝 河南省安陽殷墟侯家莊出土	3個		中国・殷時代	紀元前13－12世紀	90063－65	
2	饗養文爵		1個		中国・殷時代	紀元前13－11世紀	90105	
3	饗養文觚		1個		中国・殷時代	紀元前13－11世紀	90102	
4	○ 饗養文卣		1個		中国・殷時代	紀元前12－11世紀	90086	
5	◎ 饗養文罍	伝 河南省安陽殷墟侯家莊出土	1個		中国・殷時代	紀元前13－12世紀	90067	
6	◎ 饗養文甗	伝 河南省安陽殷墟侯家莊出土	1個		中国・殷時代	紀元前13－12世紀	90080	
7	◎ 饗養文尊	伝 河南省安陽殷墟侯家莊出土	1個		中国・殷時代	紀元前13－12世紀	90069	
8	◎ 饗養文尊	伝 河南省安陽大司空村出土	1個		中国・殷時代	紀元前13－12世紀	90070	
9	饗養文尊	伝 河南省安陽出土	1個		中国・殷時代	紀元前13－12世紀	90071	
10	饗養文尊		1個		中国・殷時代	紀元前12－11世紀	90075	
11	◎ 双羊尊		1個		中国・殷時代	紀元前13－11世紀	90074	
12	◎ 饗養文方罍	伝 河南省安陽大司空村出土	1個		中国・殷時代	紀元前13－12世紀	90079	
13	饗養文方罍		1個		中国・殷時代	紀元前12－11世紀	90081	
14	饗養文甗		1個		中国・殷～西周時代	紀元前11世紀	90082	
15	◎ 饗養文方彝		1個		中国・西周時代	紀元前10世紀	90094	
16	鳳文方壺		1対		中国・西周時代	紀元前9世紀	90097・98	
17	蟠螭文壺		1個		中国・春秋時代	紀元前7－6世紀	90099	
18	蟠螭文罇		1個		中国・春秋時代	紀元前6－5世紀	90120	
19	○ 蟠螭文鑑		1個		中国・春秋時代	紀元前5世紀	90113	
20	○ 雲文鑑		1個		中国・戦国時代	紀元前5－4世紀	90112	

【展示室5】南蛮・島物の茶道具 Nanban: Southeast Asian Tea Utensils

1	縄簾文花生		1口	焼締陶器	ヴェトナム	16－17世紀	40402	
2	切溜花生		1口	焼締陶器	ヴェトナム	16－17世紀	41187	
3	飯碗形水指 銘 長者石	福建省窯系	1口	褐釉陶器	中国・明時代	16－17世紀	40643	
4	芋頭水指	福建省窯系	1口	褐釉陶器	中国・明時代	16－17世紀	40654	
5	壺形水指	福建省窯系	1口	褐釉陶器	中国・明時代	16－17世紀	40649	
6	内洪水指	福建省窯系	1口	褐釉陶器	中国・明時代	16－17世紀	40644	
7	ノ切水指		1口	焼締陶器	ヴェトナム	16－17世紀	40645	
8	横縄四耳水指		1口	焼締陶器	ヴェトナム	16－17世紀	40642	
9	甕形水指		1口	焼締陶器	ヴェトナム	16－17世紀	40647	
10	ノ切水指		1口	焼締陶器	ヴェトナム	16－17世紀	40655	
11	柄付茶入	福建省窯系	1口	褐釉陶器	中国・明時代	16－17世紀	40103	
12	鰐手茶入	福建省窯系	1口	褐釉陶器	中国・明時代	16－17世紀	40101	
13	耳付茶入	福建省窯系	1口	褐釉陶器	中国・明時代	16－17世紀	40102	
14	ハンネラ建水		1口	焼締陶器	ヴェトナム	16－17世紀	41102	
15	ノ切糸目建水		1口	焼締陶器	ヴェトナム	16－17世紀	41184	

No.	指定 作品名	作者・賛者・銘・窯名・出土地等	員数	材質・技法	制作時期	列品番号	備考
16	瓢形建水		1口	焼締陶器	ヴェトナム 16～17世紀	41100	
17	不識徳利		1口	焼締陶器	東南アジア 16～17世紀	40926	
18	内洗鉢		1口	焼締陶器	ヴェトナム 16～17世紀	40882	
19	海老耳水指		1口	焼締陶器	ヴェトナム 16～17世紀	40648	

【展示室6】涼一味の茶 Respite: Tea for Sultry Days

1	和歌短冊	正徹筆	一幅	彩箋墨書	日本・室町時代 15世紀	00083	
2	古染付竹絵火入	景德鎮窯	一口		中国・明時代 17世紀	41047	
3	籠苴入		一合	籐	中国・明～清時代 17～18世紀	60134	
4	青磁角形花生	肥前	一口		日本・江戸時代 17世紀	42039	山本正之氏寄贈
5	鉄絵染付舟形向附	京都	五口		日本・江戸時代 18世紀	41006	
6	山水図	惟馨周徳筆	一幅	紙本墨画	日本・室町時代 16世紀	10590	小林中氏寄贈
7	鶴首網文釜	芦屋	一口	鉄	日本・桃山時代 16世紀	30190	
8	唐銅風炉		一口	青銅漆塗	日本・江戸時代 19世紀	30264	
9	青磁鉄鉢形水指	龍泉窯	一口		中国・明時代 15世紀	40656	
10	黒漆大棗	盛阿弥作	一合	木胎漆塗	日本・桃山時代 16世紀	50370	
11	三鳥礼賓茶碗	高麗茶碗	一口		朝鮮・朝鮮時代 16世紀	40236	
12	螺鈿猢猻文香合		一合	木胎螺鈿	中国・明～清時代 17～18世紀	50341	
13	茶杓 共筒	桑山左近作	一本	竹	日本・桃山時代 16世紀	60038	
14	青磁玉壺春花生	景德鎮窯	一口		中国・清時代 17世紀	41193	
15	芋頭水指	京都 野々村仁清作	一口		日本・江戸時代 17世紀	40615	
16	瓢形茶入 銘 空也	瀬戸 新兵衛作	一口		日本・江戸時代 17世紀	40056	
17	堅手茶碗	高麗茶碗	一口		朝鮮・朝鮮時代 17世紀	40270	
18	古染付葡萄絵水指	景德鎮窯	一口		中国・明時代 17世紀	40664	
19	織部手桶茶入	美濃	一口		日本・江戸時代 17世紀	40054	
20	御本三鳥茶碗	高麗茶碗	一口		朝鮮・朝鮮時代 17世紀	40197	
21	黒楽茶碗	伝 山田宗徧作	一口		日本・江戸時代 17～18世紀	40123	
22	一重切花生 銘 藤浪	小堀遠州作	一口		日本・江戸時代 17世紀	60022	
23	瑠璃釉桔梗形茶器	肥前	一口		日本・江戸時代 17世紀	42010	山本正之氏寄贈
24	染付草文茶器	肥前	一口		日本・江戸時代 17世紀	42045	山本正之氏寄贈
25	法花牡丹文水指		一口		中国・明時代 16世紀	41273	

【特別ケース】宝飾時計 Decorated Clock

1	宝飾時計	機械：C・トンプソン作	1基		イギリス 18世紀	30301	
2	宝飾時計	ジョン・モットラム作	1基		イギリス 18～19世紀	30302	
3	宝飾時計		1基			30305	

